



# 国立大学リスクマネジメント情報

2015(平成27)年1月号

<http://www.janu-s.co.jp/>

## 特集テーマ

### レピュテーション・リスク

このところ、食品への異物混入の問題が連続して発生し問題となっています。大学で異物混入が発生することはあまり考えられませんが、メディア等世論の反応を見ると、大学で発生する様々なマイナスの事案、不祥事への対策、対応で考えておくべき事柄があるように思えます。本号では、レピュテーション・リスクについて取り上げます。

#### 1. レピュテーションとは

レピュテーションとは、私たちに馴染みのある言葉で言い換えると「世間の評判」、「風評」という日本語を思い浮かべます。

「世間の評判」という言葉はプラスイメージであり、それがある程度定着すると、私たちが「ブランド」と呼ぶものに近くなります。

一方、「風評」という言葉は「風評被害」というように、マイナスイメージにつながります。

ハーバード・ビジネス・スクールのエクレス教授は、レピュテーションを、

「組織や人などの対象との関係においてステークホルダーが対象に寄せる期待に関し、当該対象がどこまで期待を実現できるかについて各ステークホルダーが認知するところによって合成される情報」

と定義しています。

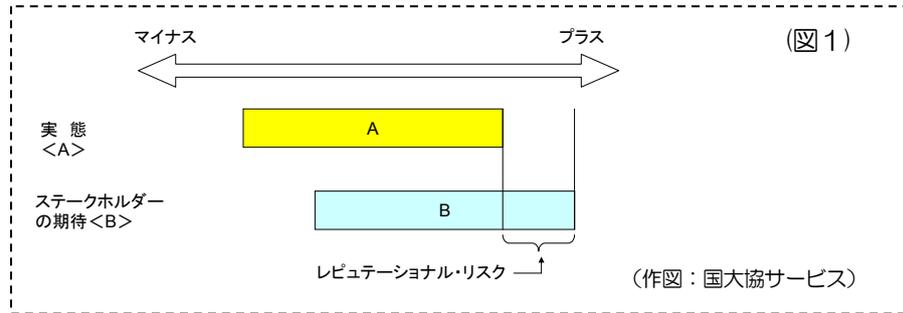
<参考> 大学のレピュテーションに影響があると考えられる最近の報道

- ・O大学の学生が女性をアパート自室で殺害。(1/28)
- ・O大学は、研究費約430万円を不正に受取りプールしたとして元教授を懲戒解雇相当とし、名誉教授の称号を取り消し。(1/27)
- ・大学の2013年度特許収入ランキング。(1/26)
- ・O大学は、教授職応募の際、論文に不正があると知りながら論文を提出した元教授に経歴詐称として諭旨解雇相当と決定。(1/22)
- ・技能五輪全国大会造園部門でO大学の学生2人が銀賞を受賞。(1/24)
- ・O大学の准教授が「能動スコープカメラ」の開発で災害救助にかかわる若手研究者に送られる学術業績賞を受賞。(1/23)
- ・O大学は、インターネットに接続されたハードディスクから個人情報延べ5万1千人分が閲覧可能となっていたと発表。(1/19)
- ・O大学病院に入院していた患者がカテーテルの誤挿入と薬剤の誤投与で死亡していたと発表。(1/19)
- ・文部科学省は、2015年度の法科大学院への補助金の増減を発表。52大学のうち42大学で減額。(1/18)
- ・O大学の非常勤講師の男性が、交際する女子学生とのトラブルで全裸になっているところを学内で発見。(1/12)



## 2. レピュテーション・リスクマネジメントのポイント

レピュテーションが、ステークホルダーの期待を当該組織がどこまで実現できるかについてのステークホルダーのイメージだとすると、そのイメージと当該組織の実態にズレが生じることが予測され、そのギャップがレピュテーション・リスクとなります。

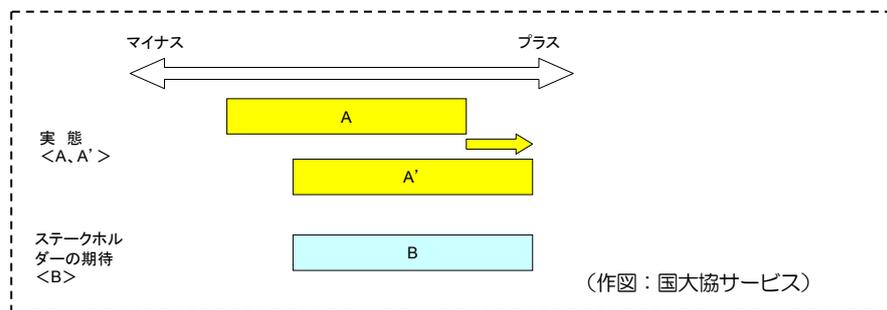


### 1) レピュテーション・リスクの測定

レピュテーション・リスクがステークホルダーが抱くイメージと当該組織の実態のズレだとすると、それへの対応のためには、まず、ステークホルダーが抱くイメージと当該組織の実態を正しく認識しなければなりません。

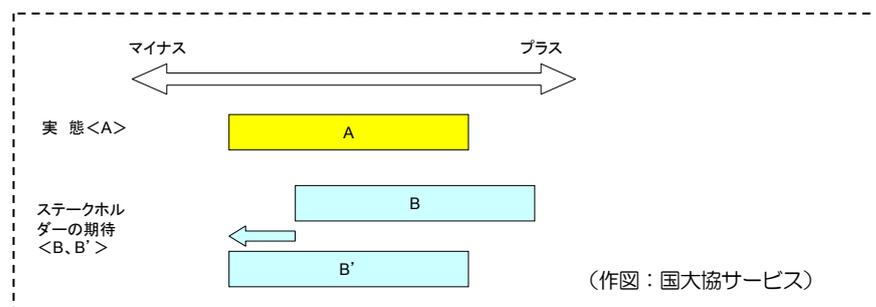
### 2) 組織の実態の改善

ステークホルダーが抱くイメージと当該組織の実態（A）を正しく認識した結果、組織の実態よりもステークホルダーが抱くイメージの期待値（B）が高い場合には、組織の実態を期待値に近づける改善（A'）がリスク回避のために必要です。



### 3) ステークホルダーとのコミュニケーションの見直し

一方、ステークホルダーとのコミュニケーションを見直し、ステークホルダーが抱くイメージの期待値を実態（A）に合わせることも考えられますが、大学という組織としての対応としては好ましいこととはいええないでしょう。



以上参考：(株)インターリスク総研 「InterRisk Report」 No.10-008 2010.5.31  
「レピュテーションとレピュテーション・リスク」



### 3. 研究不正とレピュテーション・リスクマネジメント

研究不正を例にとりて考えてみると、学術研究の水準が高いと一般から評価される大学であれば、当然、コンプライアンスが遵守され、研究者の倫理が確立されている大学と期待されます。<実態Aよりステークホルダーの期待が高い状態：B>

このような大学で、不正経理や論文不正が行われたとすると、高い期待が裏切られ、一般の評価が大きく低下することが考えられます。

学術研究の中核を目指す大学であれば、一般からの高い期待を裏切ることのないようにコンプライアンスの遵守、研究者の倫理確立に努める必要があります。<実態AのA'への改善>

### 4. 学生の不祥事とレピュテーション・リスクマネジメント

次に、学生が起こす事件や不祥事について考えてみると、大学が学生の人格教育に力を入れていて、一般からもしっかり学生を教育している大学と評価されていれば、一部の学生の問題と受け止められるでしょう。

一方、一般から学生の人格教育に力を入れていると評価されていても、実態がそうではなかったとすると、期待を裏切ることになり、大学の受けるダメージも大きくなります。その場合には、早急に実態を改善して、ステークホルダーの期待に近づける必要があります。

<実態AのA'への改善>

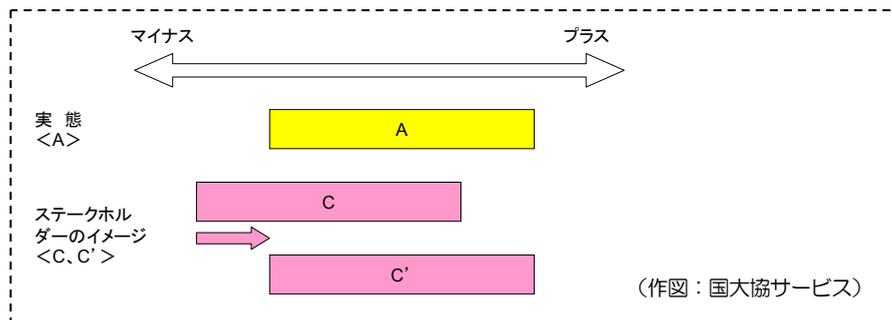
日頃から、学生に対する人格教育に力を入れ、そのことをステークホルダーに発信し、あの大学の学生は人格的にしっかりしているという期待を高めることに努める必要があります。

### 5. ブランド戦略とレピュテーション・リスク

近年、大学もブランド力を高めることに力を注いでいます。大学のブランド・イメージ調査のランキングを発表する会社もあります。

ブランドという考え方は、レピュテーションに近いと考えられ、ブランド力を高める努力は大学に対するステークホルダーが抱くイメージを高めることと考えられます。

特に、組織の実態（A）よりもステークホルダーが抱くイメージ（C）が低い場合には、イメージを組織の実態に近づける改善（C'）のための努力が必要です。



しかし、そうした努力が実態の改善を伴わないイメージ戦略（広報やマーケティング）のみだとしたら、(図1)のような、実態Aよりステークホルダーの期待が高い状態（レピュテーション・リスク）を作り出す危険をはらんでいます。

大学のブランド力を高めるためには、教育力・研究力の向上、コンプライアンス遵守、研究者の倫理確立、学生の人格の陶冶という個々の要素が総合的に評価されたものが大学のブランド力であるという基本を踏まえた上で、単なるイメージ戦略に止まらないブランド戦略を考える必要があります。



## 6. レピュテーション・リスクマネジメントと保険

以上ご説明してきたレピュテーション・リスクに関しては、保険によるリカバリーは極めて限定的です。

実験・実習中の事故に対する大学の損害賠償、個人情報漏えい等一部事案における費用については保険で対応することができますが、保険の活用を含めた適切な事後対応は、ステークホルダーが持っている期待・イメージが低下することを防ぐために必要不可欠なものではあるものの、期待・イメージを高めることに役立つものではありません。

各大学でのレピュテーション・リスクマネジメントと実態を伴ったブランド戦略が求められています。

H26. 12月

大学リスクマネジメント News PickUp

&lt;Web上のニュースから検索&gt;

### <大学の管理・経営>

- 12. 10 ○大学医学部付属病院は、病棟内の保管庫に入れていた麻酔薬プロポフォール(50ml)を紛失したと発表。
- 12. 17 文科省は、2016年度から国立大学を3グループに分類し、グループ内で高い評価を得た大学に運営費交付金を手厚く配分する方針であることが明らかに。

### <事件・事故>

- 12. 12 ○大学付属病院で看護師が入院患者に誤って鎮痛剤を必要以上に投与し意識不明となり、病院は医療ミスを認めて家族に謝罪。

### <入試等ミス>

- 12. 5 ○大学で11月に行われた一般推薦入試で、正答のない問題を出題するミスがあり、全員を正解とする措置。
- 12. 18 ○大学は、2014年度入学者の選抜で、1月の全学部統一入試の「政治・経済」と3月入試の「日本史B」で出題ミスがあり、3人を追加合格。

### <情報セキュリティ>

- 12. 11 ○大学は、学生65人の氏名や学年成績などが記されたデータを教授からの依頼を受けた事務職員が、201件の送付先に誤送信したと発表。
- 12. 12 ○大学は、受託している公共職業訓練において、訓練生19人へのテストメール送信の際、職員の誤操作により全員のメールアドレスが表示された状態で送ったと発表。
- 12. 24 ○大学で、教員採用選考応募者の個人情報17人分が保存されたUSBメモリが所在不明となっていることが報道。

### <学生・教職員の不祥事>

- 12. 11 医療情報システムの契約をめぐる、コンピュータシステム会社から54万円を受け取ったとして、地検特捜部は、収賄容疑で○大学の元病院情報センター長を逮捕。
- 12. 22 ○大学は、同大学付属薬局の薬剤師の教員が薬の代金計約349万円を着服していたと発表。
- 12. 30 大学施設内に無断侵入した中核派全学連幹部の○大学生が、建造物侵入容疑で逮捕。

### <不正行為>

- 12・12 ○大学は、元教授の4つの論文に画像操作などの捏造や改ざんがあったと発表。元教授は、昨年12月に辞職したが、大学は11月4日、論旨解雇相当の処分を決定。

#### 配信について

本誌は、各国立大学・大学共同利用機関の国大協保険ご担当者、国大協連絡登録先、ご登録いただいた方にメールで配信させていただきます。 (無料) 配信登録、解除は弊社ホームページからお願いします。 ⇒ <http://www.janu-s.co.jp/>

#### 情報提供のお願い

各大学等でのリスクマネジメントに関する取組み、事故・事件への対応のご経験、ご感想、ご要望等をお寄せください。  
⇒ [info@janu-s.co.jp](mailto:info@janu-s.co.jp)

#### バックナンバー

- 14. 12月 図上と実動による防災訓練の実施
- 14. 11月 過労死防止法と安衛法改正
- 14. 10月 噴火災害と保険適用
- 14. 9月 災害時の大学間連携
- 14. 8月 国立大学の地区災害連携協定
- 14. 7月 賠償責任保険のポイント (2)
- 14. 6月 賠償責任保険のポイント (1)
- 14. 5月 財産保険のポイント

※弊社ホームページからダウンロードできます。

発行 有限会社 国大協サービス  
東京都千代田区神田錦町3-2-3

協力 株式会社インターリスク総研  
三井住友海上火災保険株式会社

# 「国立大学リスクマネジメント情報」合冊のご案内

「国立大学リスクマネジメント情報」のバックナンバーが一冊の本になりました！！

(有) 国大協サービス発行 A4版 144頁 定価 500円 (税込)

本書は、毎月配信している「国立大学リスクマネジメント情報」直近過去2年分(2013.2~2014.11)を一冊にまとめました。

この間に特集したテーマ以外についても、「自然災害」、「実験事故」、「実習中の事故」、「講習会の実施」、「留学生の派遣・受入」、「入試ミス」、「パワハラ」、「情報漏えい」、「漏水事故」等々、大学に関連するリスクについて、総合索引とバックナンバー目次を掲載いたしました。

リスクマネジメント担当部署のバイブルとして、また学内研修等のテキストとして、本書をご活用いただければ幸いです。

(目次)

## I 国立大学リスクマネジメント情報

(2013.2~2014.11)

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1. 「天災危険の補償」           | 12. 「国大協保険次年度改定の概要」    |
| 2. 「留学生の受入れと保険」        | 13. 「無給研究員等の事故と保険」     |
| 3. 「新型インフルエンザ関連FAQ」    | 14. 「研究に関する不正」         |
| 4. 「学生の海外派遣と保険」        | 15. 「国際交流活動対応支援セミナー報告」 |
| 5. 「教職員個人の賠償責任」        | 16. 「財産保険のポイント」        |
| 6. 「夏の安全と保険」           | 17. 「賠償責任保険のポイント(1)」   |
| 7. 「学外機関での教育研究中の保険適用」  | 18. 「賠償責任保険のポイント(2)」   |
| 8. 「国大協リスクマネジメント調査報告書」 | 19. 「国立大学の地区災害連携協定」    |
| 9. 「水濡れ事故と保険適用」        | 20. 「災害時の大学間の連携」       |
| 10. 「ニュースから見た大学のリスク」   | 21. 「噴火災害と保険適用」        |
| 11. 「賠償事故対応の実務」        | 22. 「過労死防止法と安衛法改正」     |

## II 資料編

1. 国大協保険FAQ
2. 国立大学と損害保険
3. ニュースから見た大学のリスク(2012.9~2014.10に起きた185件を掲載)
4. 国立大学法人総合損害保険保険金支払状況
5. 法律上の賠償責任と賠償責任保険

## ◎項目別総合索引

2008.10からの6年間にわたる配信記事を項目別に整理し、検索し易くしました。

有限会社国大協サービス 宛

**FAX (03-5283-0052)**

メールマガジン発行六周年記念 特別号

**国立大学リスクマネジメント情報 (ご注文書)**

2013.2~2014.11

ご機関名	
送り先ご住所	〒 -
所属部署/ご担当者名	
ご連絡先	電話 ( ) FAX ( )
お申込み冊数	冊
必要書類	<input type="checkbox"/> 見積書 <input type="checkbox"/> 納品書 <input type="checkbox"/> 請求書 必要となる書類にチェックをお願いします。

(送料、振込手数料は別途ご負担願います)